

## ひろしまイノベーション推進機構の概要及び投資先企業の状況について

### 1 ひろしまイノベーション推進機構の概要

株式会社ひろしまイノベーション推進機構は、県が示した投資原則に沿って、広島を中心とする経済圏で事業活動を行い、新たなアイデアでモノや情報、仕組などを組み合わせることにより、新たな価値を創造していくイノベーションを通じて、新たな成長を目指す企業等を対象に、資金、経営ノウハウ等必要な経営資源を提供することにより、企業の成長を支援し、新たな雇用の創出や所得の拡大等広島県経済の発展に資することを目的としている。

#### (1) 概要

所在地	広島県広島市中区袋町3番17号
設立日	平成23年5月24日
資本金	5,000万円 [資本準備金5,000万円] (県100%出資)
代表者	代表取締役社長 熊谷 賢一
管理運用する投資事業組合	1号組合 (平成23年6月17日組成, 40億5,500万円) ※うち県出資40億円
	2号組合 (平成24年1月1日組成, 65億2,000万円) 計105億7,500万円 ふるさと連携応援ファンド(3号組合) (令和2年1月1日組成, 76億円) ※県は出資しない

#### (2) 財務状況

[損益計算書等]

(単位:千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
売上高	159,879	298,098	289,507
売上原価	1,521	5,000	7,692
販売費・一般管理費	205,343	195,510	201,094
営業損益	△46,986	97,588	80,720
営業外収益	2,306	285	238
営業外費用	0	705	56
経常損益	△44,678	97,168	80,902
特別利益	0	0	0
特別損失	0	0	0
税金等調整前当期純損益	△44,678	97,168	80,902
法人税等	182	182	12,920
法人税等調整額	△15,271	35,333	13,801
当期純損益	△29,589	61,653	54,181
役職員数(人)	13	12	13

[貸借対照表]

(単位：千円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
資産の部	流動資産	222,720	344,793	383,774
	固定資産	72,771	46,860	30,045
	繰延資産	0	0	0
	合計	295,492	391,654	413,819
負債及び純資産の部	流動負債	97,254	128,912	97,563
	固定負債	595	3,446	2,779
	資本金	50,000	50,000	50,000
	剰余金等	147,643	209,295	263,476
	評価・換算差額等	0	0	0
	合計	295,492	391,654	413,819

[キャッシュフロー計算書]

(単位：千円)

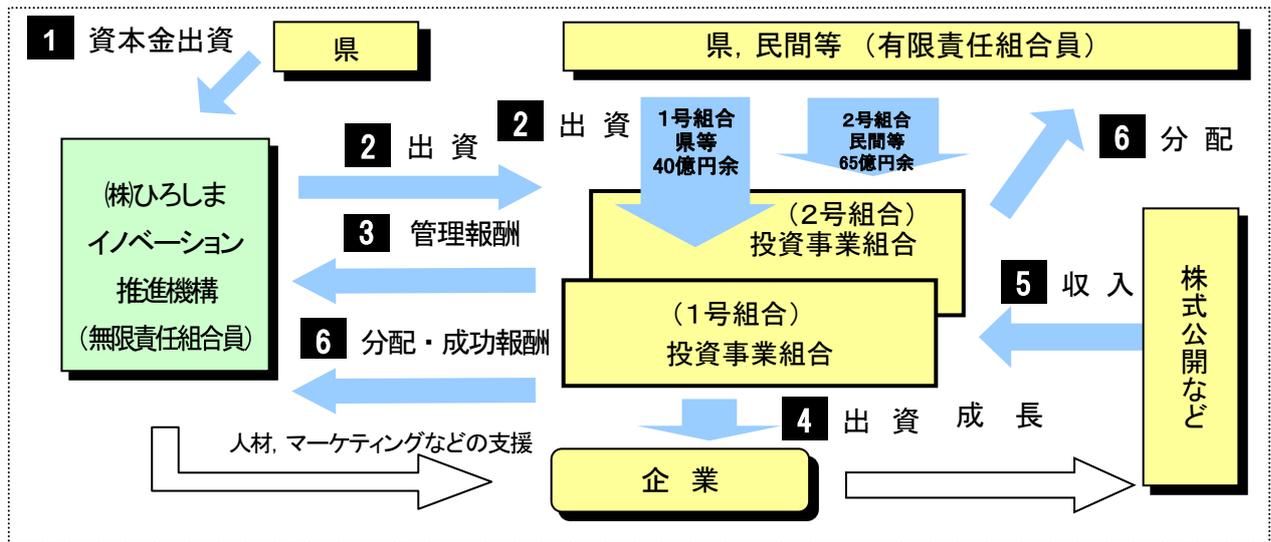
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
営業活動によるキャッシュフロー	△4,903	70,296	85,072
投資活動によるキャッシュフロー	△227	△231	294
財務活動によるキャッシュフロー	0	△517	△787
現金及び現金同等物の期末残高	213,355	282,902	367,481

## 2 投資事業組合の状況（1号組合・2号組合）

### (1) 概要

名 称	ひろしまイノベーション推進 第1号投資事業有限責任組合	ひろしまイノベーション推進 第2号投資事業有限責任組合
設 立 日	平成23年6月17日	平成24年1月1日
出資総額	40億5,500万円	65億2,000万円
存続期間	令和5年12月末まで	令和4年12月末まで 最長2年延長可のうち、1年延長済み
出 資 者	[有限責任組合員] 広島県 フェニックス・キャピタル(株)  [無限責任組合員] (株)ひろしまイノベーション推進機構	[有限責任組合員] (株)みずほ銀行 (株)広島銀行 フェニックス・キャピタル(株) (株)もみじ銀行 (株)三井住友銀行 広島信用金庫 NECキャピタルソリューション(株) 広島市信用組合 (独)中小企業基盤整備機構 呉信用金庫 広島県信用組合 [無限責任組合員] 中国電力(株) (株)ひろしまイノベーション推進機構 (株)中電工 マツダ(株)
運営会社	(株)ひろしまイノベーション推進機構 ※2組合合計105億7,500万円を一体的・並行的に管理運用	

(2) スキーム図



(3) 投資実績 (令和4年5月31日時点)

	投資先企業名	投資決定額	投資実行額	株式譲渡額
①	オー・エイチ・ティー株式会社 (福山市神辺町)	約 10 億円 (H24. 4. 9 公表)	同左	約 27 億円 (H28. 3. 23 公表)
②	株式会社サンエー (三次市南畑敷町)	約 10 億円 (当初5億円H25. 4. 26公表) (追加5億円H26. 7. 9公表)	同左	約 11 億円 (H27. 8. 26 公表)
③	アイサービス株式会社 (尾道市美ノ郷町)	約 3 億円 (H26. 7. 9 公表)	同左	約 4 億円 (H30. 10. 2 公表)
④	株式会社ツーセル (広島市南区)	約 8 億円※ (H26. 11. 20 公表)	同左	— (支援中)
⑤	株式会社なかやま牧場 (福山市駅家町)	約 7 億円 (当初4億円H27. 8. 20公表) (追加3億円H28. 10. 25公表)	同左	一部を譲渡 約 5 億円 (H30. 10. 2 公表) 残りを譲渡 約 7.3 億円 (R. 3. 10. 15 公表)
⑥	ルーチェサーチ株式会社 (広島市安佐南区)	約 5 億円※ (H29. 9. 14 公表)	約 2 億円	約 2.3 億円 (R1. 10. 15 公表)
⑦	株式会社ビーシー・インクス (広島市安佐北区)	約 12 億円※ (H29. 10. 30 公表)	約 9 億円	約 8.5 億円 (R3. 10. 15 公表)
	合計	約 55 億円	約 49 億円	約 65.1 億円

※ 事業の進捗に応じて段階的に投資実行。

(4) 株式譲渡等に伴う県への出資金償還額

3, 430, 142, 100円 (令和4年5月31日現在)

### 3 投資先企業（支援中）の状況等（1号組合・2号組合）

#### (1) 投資先企業（支援中）一覧（令和4年5月31日時点）

	投資先企業	事業内容	投資決定額
①	株式会社ツーセル (広島市南区)	医療用の遺伝子・細胞, 医薬品, 診断薬, 試薬, 医療材料の研究・開発・製造・販売等	約8億円

#### (2) 投資先企業（支援中）の状況

##### ① 株式会社ツーセル

##### i 企業概要（現況）

代表者	代表取締役社長 日浦 敏樹（ひうら としき）
所在地	広島市南区比治山本町16番35号
設立	平成15年4月23日
資本金	34億6,137万円
従業員数	65名
事業内容	大学の技術シーズを活用した, 医療用の遺伝子・細胞, 医薬品, 診断薬, 試薬, 医療材料の研究開発・製造・販売, 医療機器・医療用具の研究開発・製造・販売等

##### ii 投資の状況

##### 〔決定状況〕

	決定額	備考
平成26年11月18日	最大約8億円	事業の進捗に応じて段階的に実行

##### 〔実行状況〕

	摘要	投資額
平成26年12月11日	第三者割当増資の引受	1.55億円
平成28年 5月26日	新株予約権の権利行使	1.55億円
平成29年 7月 6日	新株予約権の権利行使	3.10億円
平成30年 9月 5日	新株予約権の権利行使	1.55億円
合 計		7.75億円※

※ 別途, 投資に伴う費用（財務・法務等調査費等）を支出。

##### iii 機構による支援の状況

- これまで, ガバナンス・経営管理体制の強化に資するよう, 機構から社外取締役1名を派遣し, 経営をモニタリングするとともに, 事業戦略の実行支援, 体制強化に伴う社内ルール等経営基盤の整備, 経営管理体制の強化等, 上場に向けた総合的な支援を実施してきた。
- また, 機構の新株予約権の行使による資金支援に加え, 機構が運用する投資事業有限責任組合の出資者を始めとするネットワークを活用した資金調達等の資本政策支援も実施してきた。

#### iv 経営の状況

- 軟骨再生医療事業については、平成28年4月に、開発中の膝軟骨再生細胞治療製品「gMSC®1」に関して中外製薬株式会社（以下「中外製薬」）とライセンス契約を締結したほか、平成29年5月に治験実施の申請が受理され、同年11月から治験が開始されている。
- 中外製薬との契約により、今後数年にわたって合計で数億円規模のライセンス収入が得られることに加え、今後の上市化に向けて同社と協働して進められることとなっており、「gMSC®1」の早期の製品化に向けた取組は、順調に進んでいる。
- また、第2、第3の製品候補を構築するため、脳梗塞細胞治療製品及び注射型軟骨再生細胞治療製品について大学と共同研究を開始したほか、平成29年5月には、間葉系幹細胞を用いた脳梗塞治療等の研究開発について、大手製薬企業である大塚製薬株式会社と提携するとともに、同社から約3億円の出資を受けた。
- 「gMSC®1」の治験が順調に進んだことから、平成30年9月5日付で、機構から第4回目となる1億5,500万円の追加出資を受けた（平成26年11月18日の投資決定に基づく追加出資）。これにより、機構は同社に対して予定していた全ての出資を完了した。
- 令和2年9月に第三者割当増資により総額8億3,000万円余を調達したほか、令和3年10月にはふるさと連携応援ファンドなどから第三者割当増資により資金調達し、また、同月に同社が進める「gMSC®1」の治験最終患者の手術が完了し、中外製薬からライセンス収入を得たことなどにより、財務基盤を強化している。

v 財務の状況

[売上高及び損益等]

(単位：千円, 千円未満切捨)

	平成31年3月期 (第16期)	令和2年3月期 (第17期)	令和3年3月期 (第18期)
売上高	11,875	215,634	16,437
経常利益又は 経常損失	△1,123,488	△1,138,279	△1,340,101
当期純利益又は 当期純損失	△1,132,703	△1,157,104	△1,345,151
従業員数(人)	58	71	55

[貸借対照表の要旨]

(単位：千円, 千円未満切捨)

		平成31年3月期 (第16期)	令和2年3月期 (第17期)	令和3年3月期 (第18期)
資産の部	流動資産	672,314	1,046,935	587,539
	固定資産	41,230	39,094	47,420
	合計	713,545	1,086,029	634,960
負債及び純資産の部	流動負債	372,224	168,949	178,927
	固定負債	42,490	25,353	71,708
	株主資本	298,830	891,725	384,324
	資本金	1,285,000	2,160,000	2,578,875
	資本剰余金	1,275,000	2,150,000	2,568,875
	資本準備金	1,275,000	2,150,000	2,568,875
	利益剰余金	△2,261,169	△3,418,274	△4,763,425
	繰越利益剰余金	△2,261,169	△3,418,274	△4,763,425
	合計	713,545	1,086,029	634,960

[売上高]

- 令和3年3月期は提携先企業からのライセンス収入がなかったこと等によって、売上高が前期の約2億1,500万円から約1,600万円に減少した。

[当期純損益]

- 引き続き、治験や研究開発を進めたことにより、当期純損失として、前期から約1億8,800万円減となる約13億4,500万円を計上している。

#### 4 投資事業組合の状況（3号組合）

名 称	ふるさと連携応援ファンド投資事業有限責任組合
設 立 日	令和2年1月1日
出資総額	76億円
存続期間	令和11年12月末まで ただし、最長2年延長可
出 資 者	<p>[有限責任組合員] 株式会社広島銀行，株式会社もみじ銀行，広島信用金庫，広島市信用組合， 呉信用金庫，広島県信用組合，中国電力株式会社，株式会社中電工， 広島ガス株式会社，マツダ株式会社，リョービ株式会社， 田中電機工業株式会社，株式会社広島マツダ，広島県信用保証協会， 株式会社新生銀行，株式会社ゆうちょ銀行，株式会社三井住友銀行， 株式会社山陰合同銀行，株式会社中国銀行，三井住友信託銀行株式会社， 独立行政法人中小企業基盤整備機構</p> <p>[無限責任組合員] (株)ひろしまイノベーション推進機構</p>
運営会社	(株)ひろしまイノベーション推進機構
投資対象	広島を中心とする経済圏において事業活動を行っている企業，今後行う企業及び当該経済圏の企業と提携するなど広島を中心とする地域経済の発展への寄与が期待できる企業
想定ニーズ	事業承継及び成長投資，大企業のカーブアウト，非公開化 など

(2) 投資の状況（令和4年5月31日時点）

令和2年度から次の企業に対して投資を行い、経営参加型の支援（社外役員の派遣等）を行っている。

企業名（所在地）	事業内容	公表日
株式会社キングファクトリーグループ （広島市中区）	飲食業（広島式汁なし担担麺専門キング軒，おこのみ魂悟空の運営等）	令和2年4月13日
株式会社ミルテル （広島市南区）	血液検査事業（ミアテスト®（疾患リスクの早期検査），テロメアテスト（遺伝子の疲労度測定）及び関連事業の研究開発等）	令和2年4月24日
株式会社フタバ図書 （広島市西区）	書籍，CD/DVD，中古品等の販売及びレンタル並びにアミューズメント施設等の運営	令和3年1月28日
株式会社ツーセル （広島市南区）	医療用遺伝子及び細胞，医薬品，診断薬，試薬，医療材料の研究・開発・製造・販売等	令和3年10月15日
株式会社ボレー （福山市新市町）	レディースボトム等の企画・製造	令和4年4月27日